

【学校の教育目標】
・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子
【目指す学校像】
学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】
重なるの協調 柔軟な捉え方
愉快地に楽しく

逆上がりは1回目が最も難しい

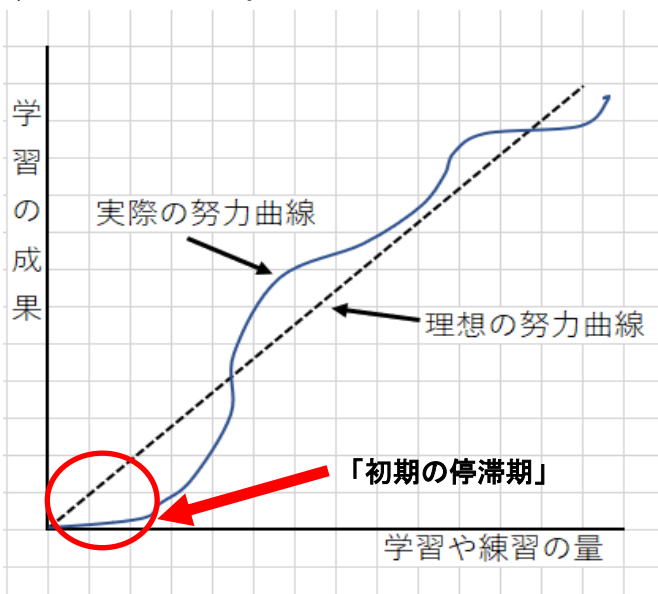
校長 渡部 順一

アジサイの花が咲きました。一番先に花が咲くのは、正門から入って駐車場に向かう通路の左側の「ガクアジサイ」です。この後、北門側のアジサイが大輪の花を咲かせていきます。

これらの花々ですが、咲き誇るまでには様々な段階を経ています。子供たちの成長もそうです。そんなに順風満帆にはいきません。



【淡い色が雨の日に似合います】



左図は、「努力曲線」または「学習曲線」と呼ばれるもので、子供たちの成長の進み具合を、学習や練習の時間とその成果の関係性のグラフで表現しています。

適切に学習や練習を、積み重ねていっても理想の努力曲線のように進まず、実際の努力曲線のように紆余曲折を経ます。

例えば、鉄棒を使つての運動で「逆上がり」という技があります。できない状態から、もしかしてできるかもに至るまで、心身ともにかなりのエネルギーを要します。「初期の停

滞期」は学習者はもちろん指導者にとっても、最初にして最大の障壁になります。

しかしこの時期を乗り越えさえすれば、あれだけ苦しんだことが嘘のように2回、3回・・・とできてしまいます。

71日間の一学期の前半を終了し、6月は残り35日間の後半に入ります。子供たちは、前半でこの逆上がりのような、いくつかの「初期の停滞期」を乗り越え力を伸ばしています

後半もこの時期が、いくつかやってきます。そんな時、「もしかして面白いかも」、「できるかも」と、意欲を持続させながら粘り強くチャレンジし成長できるように、教職員一同で力を合わせ、子供たちにしっかりと伴走しながら教育活動を進めて参ります。

今月も引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。